

いまべつ 499



除排雪作業中の浜名地区

降り止まぬ雪、豪雪対策本部設置

当町では、昨年12月初旬から降り始めた雪が1月23日現在、今別地区91センチ、二股地区152センチの積雪量を記録したため、今別町豪雪対策本部を設置しました。

平成27年度末完成目指し

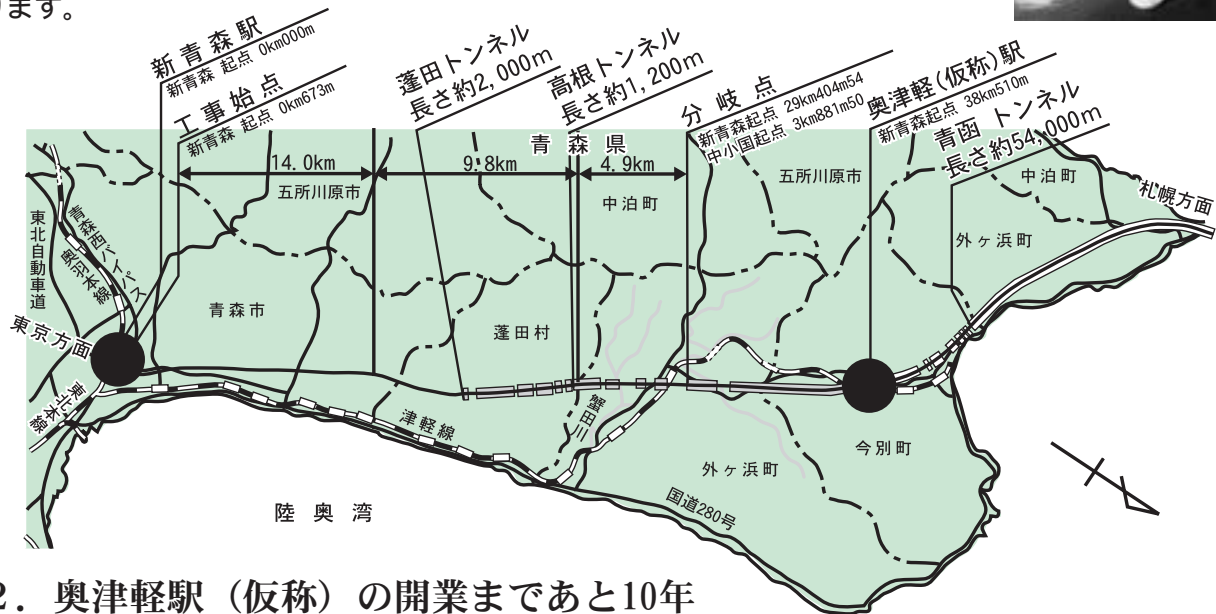
北海道 新幹線 情報 NO 2



1. 北海道新幹線待望の着工

平成16年12月に政府・与党整備新幹線検討委員会において、北海道新幹線の着工が決定され、平成17年5月には北海道大野町において北海道新幹線の起工式が行われました。現在、平成27年度末の完成を目指し工事が行われています。

この北海道新幹線は、当町はじめ津軽半島地域の振興発展や道南地域との交流拡大が大いに待たれており、当町としては、新青森駅を主軸に奥津軽駅(仮称)を一方の支軸として、津軽地方を大観光圏に構築し津軽地方と上磯地区の発展を図ります。



2. 奥津軽駅(仮称)の開業まであと10年

当町には本州側二つ目の新幹線駅として、平成10年2月に北海道「ルート・駅」が公表され、「津軽今別駅」に「奥津軽駅(仮称)」が決定しています。さらに、「奥津軽」駅(仮称)周辺には、駅舎のほか保守基地の建設が予定されています。

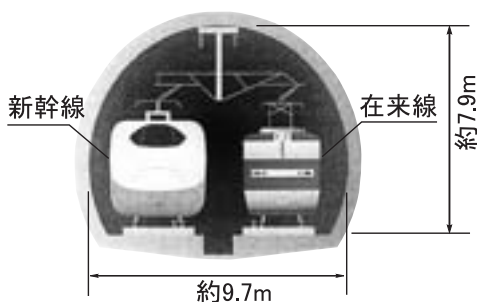
町としては、駅周辺の再整備とアクセス道路の整備が重要課題であり、今後は国・県及び鉄道・運輸機構や関係機関の協力を頂きながら施設整備を図っていきます。

本州と北海道間は、既に開業している青函トンネルを利用することとなり、在来線の列車(貨物列車)と新幹線が共用する初めての区間となります。

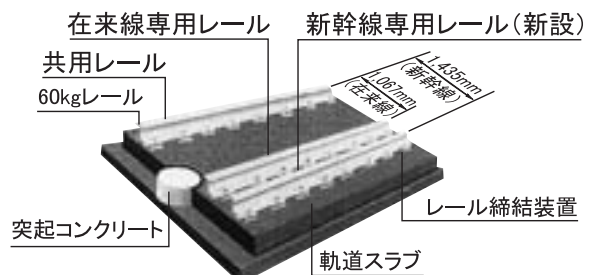
在来線との共用区間の概要

青函トンネルとその前後の区間は現在、津軽海峡線として在来線列車が運行していますが、もう1本新幹線用のレールを敷くことにより在来線と新幹線が共用走行できます。

▶トンネル断面図



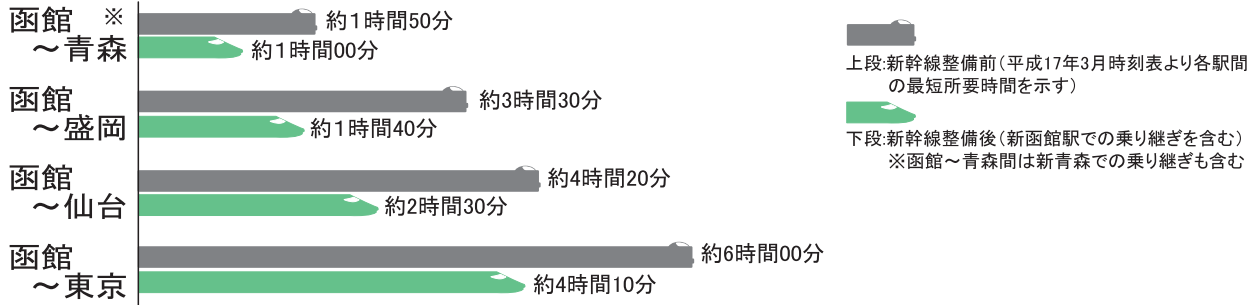
▶三線式スラブ軌道



3. 東京・新函館を約4時間10分で結ぶ

北海道新幹線は、首都圏及び東北各県と北海道を結ぶ高速交通基幹であり、特に冬期間の悪天候の影響を受けやすい飛行機に対して、安全性、定時性、大量輸送の面で優位が期待されます。

東京が近くなります。



《《《《《地域の連携で幼児・児童・生徒を守ろう》》》》》



町ではこのほど、中央公民館において、児童・生徒の安全対策に係る関係機関等連絡会議を行ないました。

参集団体は、蟹田警察署、今別小・中学校、今別高校、地域各団体等で、全国各地で子どもたちへの犯罪が増している中、子どもたちの安全確保対策について話し合いました。会議では、地域ぐるみの連携した取り組みや会議の継続を確認しました。

『蟹田警察署』

被害を防止するための防犯意識を!

『蟹田警察署』
昨年、東郡管内でも、見知らぬ人から写真を撮られた、声をかけられた、後をつけられたなど子どもたちは危険な状況に置かれています。

子どもたちには、犯罪に遭わないために常に防犯意識を持たせるとともに、保護者は自ら子どもを守る意識を強く持ち、地域においては子どもたちに目配りをしてほしい。

『今別小学校』『今別中学校』『今別高校』 子どもが安全に生活するために

『今別小学校』『今別中学校』『今別高校』
今別小学校では子ども連れ去りの寸劇、防犯ブザーを携帯など防犯教育につとめているが、スクールバスから家までの帰路が不安であるため、保護者、地域の協力をお願いしたい。

今別中学校では、生徒が遅くなった場合、保護者と連絡を取り、また生徒の下校とともに、帰路を先生方が巡回するなど防犯に努めている。

今別高校では、町内ではないが青森市内で声をかけられたりしている。生徒には、自分の身は自分で守ることの大切さを指

◆◆地域ぐるみで子どもを守ろう◆◆

- 【学校の役割】
地域や関係機関との連携を深め、情報交換や通学路、通学時間帯を考慮した警戒活動を強化しましょう。
- 【家庭の役割】
子どもの通学路や遊び場を点検し、特に夜の明暗を確かめ、危険箇所の把握に努めましょう。
- 【地域の役割】
登下校中の児童や遊んでいる子どもを、地域ぐるみのパトロールなどで見守りましょう。



『地域各団体』 会合で防犯意識強化を

『地域各団体』
団体の会合時には、地域防犯について話し合い、行動に移していかなければならない。また、子どもがいる家庭、いない家庭に問わず関心を持ち、子どもたちの安全に連携し協力していかねばならないなどの意見が出されました。

今別町国民健康保険優良世帯と

国民健康保険被保険優良老人のお知らせ

平成16年4月から平成17年3月までの1年間、国民健康保険税を完納し、かつ医療を受けなかった優良老人と優良世帯の方々をお知らせします。(※敬称略)

<国 保 健 康 老 人>

<国保健康優良世帯>

対象者	世帯主	地区名
工藤 しで	本人	今別
紅谷 善一	"	"
勝野 たみ	正英	"
山崎 宏治	本人	"
南 昌次	"	"
佐藤 美津江	兼正	"
平野 勇太郎	本人	"
佐藤 義美	"	"
外崎 としよ	"	団地
平川 美佐男	"	"
畑井 喜佐光	"	西田
野土谷 光雄	"	"
野土谷 タ工	光雄	"

対象者	世帯主	地区名
川村 静	弘江	浜名
嶋中 やよゑ	英貴	大川平
三上 つせ	弘	"
葛西 義憲	本人	"
工藤 要吉	"	"
相内 まめ	穰	二股
中島 イチ	洋	村元
堀谷 文二	本人	山崎
太田 盛一	"	"
米田 昭司	"	褒月
米田 つま	"	"
藤巻 京子	榮太郎	砂ヶ森
田中 きみゑ	勝英	奥平部

世帯主	地区名
中島 了	団地
阿部 眞一	西田
澤田 照雄	浜名
川村 弘江	"
田中 百合子	大川平
明田 房栄	"
相内 實	"
中道 きみ子	"
相内 勝子	"
中村 徳夫	関口
太田 盛一	山崎
吉田 清志	大泊
吉田 博文	"

国民健康保険からのお知らせ

◎入院したらまず食事代の確認を！

入院した時の食事代は、次の金額だけを自己負担し、残りは国保・老保が負担します。

【国 保】 ◆入院時食事療養費の標準負担額（1日あたり）

一 般 (下記以外の人)		1日 780円
・住民税非課税世帯	90日までの入院	1日 650円
・低所得	90日を超える入院 (過去12か月の入院日数)	1日 500円
・低所得		1日 300円

住民税非課税世帯の人は、入院の際に「標準負担額減額認定証」(低所得 ・ の人は「限度額適用・標準負担額減額認定証」)が必要です。

【老人保健】 ◆入院時食事療養費の標準負担額（1日あたり）

一 般 (下記以外の人)		1日 780円
・低所得	90日までの入院 (過去12か月の入院日数)	1日 650円
	90日を超える入院 (過去12か月の入院日数)	1日 500円
・低所得		1日 300円

低所得 ・ に該当する人は「老人医療の限度額適用・標準負担額減額認定証」を医療機関の窓口に表示すれば、入院時の一部負担金の限度額などが少なくて済みます。この減額認定証は、老人保健の担当窓口申請して、認められた場合は交付されます。

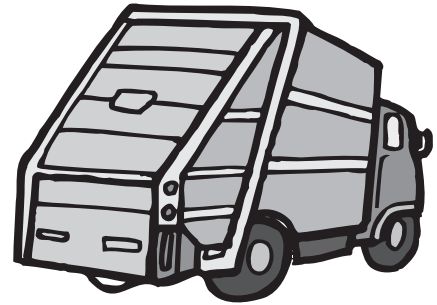
※お問い合わせ：住民福祉部 国民健康保険係 TEL35-2001

ごみ の出し方に気をつけて!

皆さんの家庭から出されたごみの種類によって収集する曜日、車や処理方法が違います。まだ未分別ごみ、回収できないごみなどが収集ステーションに残され、周辺や利用者等に迷惑をかけています。

特に、間違いやすい「資源ごみ」は多く残されているようです。出し方を守って間違えないようお願いいたします。

※お問合せ：環境福祉 ☎ 35-2001



《ビン・缶・ペットボトル》

・「資源ごみ用」指定ごみ袋に入れて、それぞれに分類して出して下さい。

①透明な空きビン
透明なビンだけ入れて出してください。



②茶色の空きビン
茶色のビンだけ入れて出してください。



③その他の空きビン
その他のビンだけ入れて出して下さい。



④空きカン
スチール、アルミを一緒に出してもいいです。



⑤ペットボトル
ペットボトルだけ入れて出して下さい。

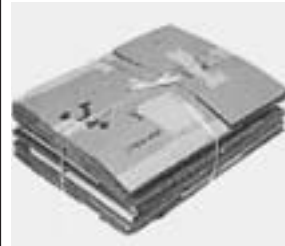


《古紙類》

「紙ひも」で結んでください。
(指定の袋は使いません。)



①ダンボール防水加工、アルミ箔の張ってるものはリサイクルできません。ガムテープや留め金はそのまま大丈夫です。



②紙パックはすすいで、一枚に開いて乾かしたものを。酒パックは出せません。



③新聞に折り込まれたチラシは、一緒にリサイクル。それ以外のチラシは雑誌と一緒に。



④雑誌、書籍、ティッシュの空き箱、菓子の箱、紙箱、包装紙、封筒、紙袋も大丈夫です。(手帳等も可能)



一年の無病息災等を祈願



1月14日、旧今別営林署土場において今別八幡宮の「どんど焼」が行われました。

「どんど焼」は、無病息災・五穀豊穡・大漁祈願、交通安全を願い、しめ縄、しめ飾り、昨年のお礼などを神主が祈禱を行い焼く催しです。

例年のように多くの町民が訪れ、今年一年の無病息災等を祈願しました。

また、八幡宮神社の婦人グループの方が甘酒を振る舞い、温かい甘酒に町民も「とてもおいしい」と喜んでいました。

和牛をもっと増やして、もっと儲けましょう!!



このほど、東つがる農業協同組合管内の蓬田村、外ヶ浜町蟹田地区、今別町の畜産農家30人が荒馬の里活性化センターに集合し、青森畜保健衛生所主催で行われた研修会で、和牛理論と技術向上に真剣なまなざしを取り組んでいました。

初めに同保健衛生所の漆戸謙輔所長が「和牛繁殖経営における生産性向上のポイント」と題し講演を行いました。この中で漆戸所長は和牛情勢をはじめ、所得向上のポイントや繁殖牛の飼養管理、分娩事故防止など10項目にわたり実例を交えながらスライドを用いて話し、特に「後継者育成の面でも息子名義の牛を持たせ、市場でついた売値を息子の通帳に入金させ経営面で意欲を持たせることも必要」と話しました。

参加者は、事故のない飼養管理で高値が続いている和牛をもっと増やし、もっと儲けようという意欲を燃やしていました。

荒馬っ子スクール「親子スキー教室」



荒馬っ子スクール「親子スキー教室」が、1月9日・10日の両日、今別町スキークラブ指導員を講師に、岩木山百沢スキー場で行われました。

スキー教室は冬期間、親子のふれあいを深め、子どもたちの自主性と協調性を養うとともに、丈夫な体づくりを目的に行われ20人が参加しました。

初めて参加し、2日目には頂上からすべれるようになった五十嵐宏樹くん（今小3年）は、「大きなスキー場は、初めてなのでとても不安だった。最初は、うまくすべれなくて、先生からたくさん指導を受けた。そしたら、2日目には頂上からすべることができ、とてもうれしかった」と笑顔で話していました。

粘土で装飾「手づくりストックびん」



地域子ども教室は、1月14日中央公民館において、「粘土でストックびんづくり」を開催しました。

参加した唐川恭代さん（今小1年）は、空きビンのふたに粘土でイチゴをたくさん作り、「いちごケーキストックびん」を完成させ、「とても楽しい。またいろんなストックびんを作りたい」と感想を話してくれました。

地域子ども教室は、誰でも参加できる教室なので、皆さんの参加をお待ちしています。

今別川

— 自然の川をめざして —

「生きものの、

さまざまなつながり」

第十一話

環境とは（人もその中にいる）たくさんもの、生き物同士の複雑なつながりです。山、川、海のつながりが基本である地勢もあります。オホーツク海から知床半島に流れてくる流氷は、ロシア、中国にまたがる大河、アムール河などの淡水と、深海流の循環が作り出したものと言われます。栄養豊かなその流氷は、数えきれないプランクトンを生成し、その食物連鎖の中で次々に魚が育ちます。

イワナ、ヤマメ、マスなどの住む溪流環境は上流の山林、河畔林で保たれる冷たい水の流れ、山林の落葉、有機物を食べる川底の水生昆虫などの総体です。上流域の山林がなくなり、遡上を妨げるダムがたたくさんあれば、魚の住む環境は失われます。かつては中下流域に、田んぼの堰と川の交流する小さな環境もありました。雪解け水が治まる頃、田堰にはいろいろな小魚が上っていきました。フナ、ドジョウ、ユゴイの子、小さなカニ、ヤマメの子も混じっています。小さな網で堰の岸を突つつき、小魚を救つのが子どもたちの楽しみでした。こつした雑魚は、いわば川と田堰の回遊魚でした。田植え

のあと、水の張った田んぼではどうだったでしょう。ワラ屑や小さな動物の糞などを細菌やユスリ蚊が食べる。その排泄物を植物性プランクトンが吸収する。それをミジンコが食べ、ユスリ蚊をオタマジャクシが食べる。ミジンコやオタマジャクシを、ヤゴやゲンゴロウなど幼虫が食べる。夏から秋にかけてヤゴの成虫、赤トンボをツバメが食べる、といった食物連鎖がありました。さまざまのプランクトンを含んだ田んぼの水は、川から海に流れ出て海藻や魚介類を育てることになったでしょう。持続できる山林の生産性からこつした食物連鎖や複雑な循環を壊さずに生きることが今、将来とも問われています。

今は田んぼにタニシがいても、一時期の魚毒性の農薬が濃縮残留しているかもしれせん。小沢のイワナにも奇形が見られたことがあります。カエルやメダカ、ホタルのいる田んぼのためには減農薬の方向が必要です。

青森県でも川と田んぼの交流を促すために「田と排水路間のドジョウの階段」事業を始めました。樋門の階段傾斜を緩やかな魚道のようにするのですが、効果のあるものにはしたいものです。



澤田 瑞穂さん
(今別八幡宮宮司)



ベッキーさん

Hello! いまべつのみなさん No. 4

In the month of February, the most famous holiday is Valentines Day. 【2月の中で、一番人気の祝日はバレンタインデーです】 Valentines Day is February 14. 【バレンタインデーは2月14日です】 On that day, people all over the world celebrate St. Valentine. 【その日、世界中で人々は聖バレンタインを祝います】

About 1700 years ago, St. Valentine lived in Rome. 【1千7百年ぐらい前、聖バレンタインはローマに住んでいました】 Today, historians only know a little bit about the history of St. Valentine. 【今、歴史家は聖バレンタインの歴史を、少しだけ知っています】 They do know that he was executed in 270 A.D. 【西暦270年に聖バレンタインが死刑を執行されたことを知っています】 He was probably killed on February 14. 【多分2月14日に殺されました】

At that time, marriage between young people was not permitted. 【その当時は、若い人の結婚は許されませんでした】 But, St. Valentine continued to marry young lovers illegally. 【でも、聖バレンタインは若い恋人たちを不法に結婚させ続けました】 Therefore, he is the patron saint of lovers. 【それゆえに恋人同志の聖者です】 In America, on Valentines Day, women and men give presents to the people that they love. 【アメリカで、バレンタインデーに男の人と女の方は好きな人にプレゼントをあげます】 Usually, men give women presents. They usually give flowers or candy or love letters.

【よく、男の方は女の方にプレゼントをあげます。花かキャンディーかラブレターをあげます】 Sometimes, they take the women out to dinner or a movie. 【ときどき、好きな女の人を食事とか映画に招待します】 Many people send the person they love a Valentine. 【たくさんの方は好きな人にバレンタインの手紙を出します】

In these short notes it always says, "Will you be my Valentine?"

【その短い手紙はいつも、「私のバレンタインになって下さいますか?」と言います】

So everyone, on February 14, Valentines Day, please send Valentines and tell someone, "I love you." 【そこで、皆さんも、2月14日のバレンタインデーにバレンタインの手紙を送ったり誰かに『愛しています』と言ったりして下さい】



こんにちは。保健師です。

～すすめよう 健康いまべつ21～

今月は学校保健会からのお知らせです。



—学校・地域保健推進事業（青森県教育庁スポーツ健康課）—
栄養教室「いのちのたべもの」（10月21日に今別中学校で開催）

講師 工藤内科クリニック 管理栄養士 木村 幸子 氏

【講演内容】

私たち人間は動物や魚、植物など他の命を食べて生きている。また、人間の身体は頭髪、爪、血管、内臓などすべて食べ物からできている。そこで、見方を変えて身体の面から食べ物をみると、身体が必要としている食べ物が明らかになってくる。それは、①ご飯②魚・肉・卵・大豆③牛乳・油脂④野菜・海草類⑤果物です。身のまわりには『気持ちが要求する食べ物』がたくさんあり、簡単に手に入るようになっているがそれを気持ちのまま食べていいのだろうか。



身体は丸ごと食べ物から造られているということから、身体のために『身体が喜ぶ食べ物』を食べるようにしよう。お家の人がいちも作ってくれる家庭料理が調理の例としてあげられています。肉など好きなものだけでなく、魚、野菜も身体のためにしっかり食べましょう。

（食べ物、多すぎても、少なすぎても、身体に害になる）



《2月の環境福祉担当の行事予定》

事業名	日時	受付時間	会場
股関節脱臼検診	2月 9日（木）	10：15～10：45	開発センター

平成18年度保育園入所児童募集

今別町では、平成18年度入園の保育園児を募集しています。入園希望者の受付を平成18年1月16日（月）から2月10日（金）までの間に役場住民福祉部環境福祉担当保育係（☎：35-2001）で行います。申請書等は役場及び今別保育園に用意してあります。

☆必要な書類等

- 印鑑
- 源泉徴収票の写し（平成17年分）
- 確定申告書の写し（平成17年分・後日確定後に提出していただきます）
- 就労証明書（用紙は役場にあり）
- 民生委員調査書・意見書（自営業の方は民生委員からの意見書が必要。各地区の民生委員から証明してもらってください）
- 診察券の写し（介護・通院の方）

※ 保育料算定のため必ず確定申告をしてください。

相内利男氏
教育委員長に選任



相内利男氏は、平成17年12月15日付けで教育委員として町長より任命され、同月27日の教育委員会議で教育委員長に選任されました。

+ 2月は「赤十字運動月間」です +

～活動資金にご協力ください～

赤十字は、人間愛の精神から発する善意を結集して、世の中の苦しんでいる人々を助け、社会を一層住みやすくするために努力しています。

★赤十字のおもな活動

- ・台風、地震などの災害被災者救援
- ・地域住民に根差した赤十字奉仕団育成
- ・将来を担う児童、生徒の健全育成
- ・血液事業の推進、国際救護等事業

今年も、2月1日から県下一斉に「あなたの身近に・・・赤十字」をスローガンに社員増強運動が始まります。町でも、2月1日から各家庭を地区の協力員が訪問しますのでご協力をお願いします。

※お問合せ：環境福祉担当（☎35-2001）

もうすぐ1年生

平成18年度今別小学校新入学児童16人を知らせします。

さとう 佐藤	はると 晴士	ふじた 藤田	よしの 吉野	みやもと 宮本	ほたる 歩達
とよさわ 豊澤	しょうや 翔弥	ひらやま 平山	みきお 未来生	なかむら 中村	かい 魁
ちば 千葉	りき 麗樹	かわぐち 川口	じゅんぺい 純平	あいうち 相内	みほ 美穂
おおた 太田	とわ 永遠	あいうち 相内	ゆい 由依	なかしま 中島	まい 真依
さとう 佐藤	あやか 彩香	そまや 杣谷	りり 梨々	みずしま 水嶋	ちはや 千颯
あいうち 相内	りな 梨菜				

1月27日現在の住民基本台帳より

（敬称略）

《乳幼児を持つお母さん方へ》『こっこくらぶ』に参加しませんか!!

乳幼児を持つお母さん方から、「子育てサークルを作りたい!」との要望で、平成16年に「こっこくらぶ」を発足しました。

現在、11組15人の親子が参加し月1～2回開発センター等で活動しています。子供たちは、広い屋内外で思いっきり体を動かしたり、お母さんたちは、情報交換をしながら交流を深めています。

また、子育てサポートセンター（中央公民館内）の子育てサポーターが子育てに関する身近な相談相手として、サークル活動や乳幼児健診に参加し、絵本の読み聞かせや子育ての相談なども行っています。

就学前の乳幼児を持つ方であればどなたでも参加できますので、興味のある方は、保健師（☎35-2001）までご連絡ください。



青森県税事務所からのお知らせ

自動車税と登録

自動車を知人等に売ったときには、買った人の名前に登録を変更しなければなりません。

自動車税は、4月1日現在で運輸支局に自動車の所有者（売主に所有権が留保されている場合は使用者）として登録されている人に1年分が課税されますので、3月末までに買った人の名前に登録を変更しないと翌年度以降の自動車税もあなたに課税されることとなります。

自動車を売買したときには、必ず管轄の運輸支局で速やかに登録を変更してください。

【お問合せ】

青森県税事務所 課税三課

☎017-734-9974

今別駐在所からのお知らせ

◎平成17年中の交通事故発生状況!!

1 人身交通事故

- 【蟹田警察署管内】・発生件数44件（前年比+12件）
・死亡者数2名（±0名）・負傷者数60名（+14名）
- 【今別駐在所管内】・発生件数12件（前年比+6件）
・死亡者数2名（-2名）・負傷者数13名（+5名）

2 物損交通事故

- 【蟹田警察署管内】発生件数225件（前年比+49件）
 - 【今別駐在所管内】発生件数38件（前年比+9件）
- 警察署全体では増加しており、今別町では死者は減少しましたが事故全体は増加していますので、皆様のご協力で今年は減少させましょう。

3 盗難事件にもご注意を!!

- 今別町で自転車の盗難事件が2件発生
- ・自転車には必ずカギを掛ける習慣をつけて下さい。この他にも盗難事件は発生しています。
- ・自宅や自動車にも必ずカギを掛けて下さい。
- ・自動車には貴重品を入れておかないで下さい。

※連絡先：今別駐在所 ☎35-2029

蟹田警察署 ☎22-2211

青森税務署からのお知らせ～所得税の確定申告書は自分で書いてみましょう～

確定申告書や収支内訳書は、「所得税の確定申告の手引き」や「収支内訳書の書き方」などを参考に自分で書いて、出来上がった申告書はお早めに送付してください。

青森税務署では、ご自分で確定申告書等を作成していただくためのアドバイスを行っております。

◆平成17年分の所得税の確定申告の作成指導及び申告書の受付期間

平成18年2月16日(木)～3月15日(水)までの平日と2月19日(日)・2月26日(日)。

作成指導時間は、9時～12時、13時～17時まで。

還付申告の方は、2月15日(水)以前でも申告書を提出できます。

◆自宅のパソコンで確定申告書などが作成できます。

国税庁ホームページ (www.nta.go.jp) の「確定申告書作成コーナー」で確定申告書や収支内訳書などが作成できますのでぜひご利用ください。

※お問合せ：青森税務署個人課税第一部門(☎017-776-4245)または税務相談室(☎017-723-2379)

青年国際交流事業に参加しませんか!

内閣府では、日本と世界各国の青年との交流を通して相互理解と友好を深め、広い国際的視野と国際協調の精神を身に付けた次代を担うふさわしい青年を育成するため、青年国際交流事業を実施しています。

青年の皆さんが、この事業に積極的に参加し、その経験を活かして地域、職域、学校又は青少年団体等において国際交流活動、青少年活動などを活発に行い、社会に貢献されることを期待しています。

現在、平成18年度に実施する「国際青年育成交流」(8月～9月)、「日本・中国青年親善交流」(8月～9月)、「日本・韓国青年親善交流」(9月)、「世界青年の船」(平成19年1～3月)、「東南アジア青年の船」(10月～12月)の参加青年(18～30歳を対象)を募集しています。

※お問合せ先：内閣府政策統括官(共生社会政策担当)

付国際交流第1担当☎03-3581-1181、

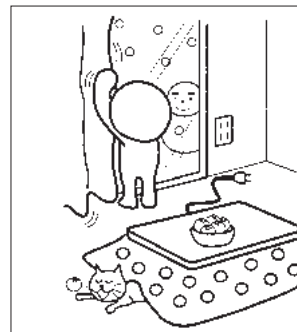
<http://www8.cao.go.jp/youth/kroyu1.htm>

青森県青少年・男女共同参課☎017-734-9224

○暮らしと電気安全

【今月は「省エネルギー月間」です】

国では、毎年2月を「省エネルギー月間」と定め省エネルギーの意識啓発をはかっています。限りあるエネルギー資源を少しでも長持ちさせるとともに、地域温暖化を防止するため、私たち一人ひとりが、エネルギーを大切に使うよう心がけたいものです。



2月

カーテンを閉めると
部屋の暖かい空気が
逃げにくくなります。

おねがい

相談は無料で秘密は守ります。

◆行政相談所開設のお知らせ◆

と き：平成18年2月18日(土)
午前10時～午後3時
ところ：中央公民館
・行政相談委員 成田 りせ子
☎35-3860

●人権相談所開設のお知らせ●

と き：平成18年2月8日(水)
午前10時～午後3時
ところ：中央公民館
・人権相談委員
・高名 和丸(☎35-2332)・藤田 光雄(☎35-2224)
・吉田 せつ(☎36-2341)・上野 一子(☎35-3755)

当日、用事等で来所できない場合、自宅でも受付しますのでお気軽にご連絡ください。

国民年金からのお知らせ

申告の場合必要となった 「社会保険料控除証明書」

国民年金保険料を社会保険料控除として申告する場合に「社会保険料控除書」などの証明する書類を添えることが義務付けられました。

そのため、社会保険庁から「社会保険料控除証明書」が送付されましたので、確定申告まで大切に保管してください。

また、生計を同じくする家族の保険料を納めた時は、その全額が納めた方の控除の対象となりますので、確定申告の手続きの時は必要な証明書を添えて申告してください。

【お問合せ】

住民福祉部国民年金担当：☎35-2001
控除証明書専用ダイヤル☎0570-00-9911
(平成18年3月17日までの平日9時から17時まで)

放送大学学生募集

【募集学生】

- ◎教養学部
全科履修生：4年以上在学し、「学士(教養)」の学位の取得を目指す
選科履修生：1年間在学し、希望する教養学部の科目を履修する
科目履修生：1学期間(6ヶ月)在学し、希望する教養学部の科目を履修する

◎大学院

- 修士選科生：1年間在学し、希望する教養学部の科目を履修する
修士科目生：1学期間(6ヶ月)在学し、希望する大学院の科目を履修する

【出願受付期間】

平成17年12月15日(木)～平成18年2月28日(火)
募集要項は無料配布しております

【お問合せ】

放送大学青森学習センター
〒036-8560 弘前市文京町1
弘前大学創立50周年記念館内(☎0172-38-0500)

まちの行事予報 2 / 1 ~ 3 / 10

イ マ ダ ス

日 曜	行 事 予 定	場 所
11 土	婦人演芸会	開発センター
12 日	今別町消防団鎮火祭	今別八幡宮
18 土	子育て講座「読み聞かせ」	開発センター
21 火	子育て講座「ゴスペル」	中央公民館
25 土	子ども教室「読み聞かせ教室・よさこいソラン」	中央公民館
26 日	荒馬っ子スノーフェスティバル	今別小学校
3 月		
1 水	今別高等学校卒業式	
2 木	今別中学校卒業式	

小澤 小 神
鹿 田 鹿 與
た 定 春 佐
き 光 男 雄
(83)(78)(49)(80)
中 山 中 奥
沢 崎 沢 平
部

お悔み申し上げます

（ 上 山 嘉 仁（大川平）
福 田 真 菜 美（札幌市）

結婚おめでとうございませう



戸

籍

の

窓

口

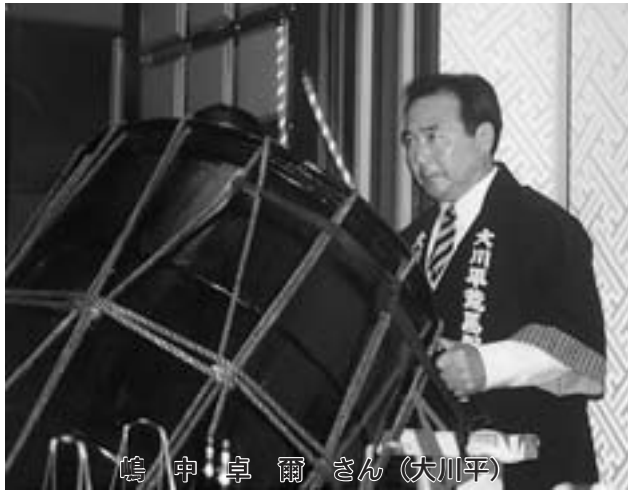
(12月1日から31日の届出分)

今別の姿(平成17年12月31日)

面 積 125.26km²
人 口 4,025人 (-5)
男 1,896人 (-4)
女 2,129人 (-1)
世帯数 1,667世帯(±0)
() 内は前月比

掲載を希望されない方は、届出の時に住民保険担当へ申し出て下さい。また、東奥日報・東奥ウェブについても同様に申し出て下さい。

げんきひと 町の元気人 ㊤



嶋中卓爾さん(大川平)

演劇で伝えたい愛と勇気

大川平有志で構成している劇団「のんべえ」の脚本を担当している嶋中さんを紹介します。

そもそも劇団「のんべえ」結成のきっかけは、8年前に旧車力村の劇団を観て、早速仲間と意気投合し、「我々もやってみよう」と始めたそうです。演劇を練習しているうちに、大川平の地域の方々に観ていただこうと感謝祭でデビュー。今では、涙あり、笑いありの演劇にファンも多く、年に一度の感謝祭が楽しみで、会場には子どもからお年寄りまで満席です。

嶋中さんは「少し大げさかもかもしれないけど、演劇を通して愛と勇気を伝えたい。そして、地域の伝統も子どもたちに伝えたい。これからも、世の中の状況を鑑み、ユーモアのある脚本に仕上げて行きたい」と話してくれました。皆さん応援してくださいね。 頑張れ元気人!

町では、元気人を探しています。自薦・他薦かまいませんので、広報担当までご連絡ください。

町のたから ㊤



H16. 2. 16生

太田 弥さん(山崎)の二男
天晴 ちゃん
「ごんぼほりで、甘えん坊な我が家の怪獣。丈夫に育ってほしいです。」
(母 紀子さんの願い)



H16. 3. 15生

小山 哲夫さん(鍋田)の長男
ゆう太 ちゃん
「大好きなじじと、大好きなブルドッグに乗るのも元気がたまるので、いつまでも元気な男の子でいてほしいです。」
(母 由紀さんの願い)

町に住所を有する3歳以下(平成13年4月2日誕生日以降)の子どもさんを掲載しています。

【食生活改善推進員推薦メニュー】 漬物チャーハン~お米を食べよう~

お好みの漬物を使って美味しいチャーハンにしよう

◆(1人分)エネルギー509Kcal。 ◆材料(4人分) ごはん800g(茶碗約5杯分強)、とりもも肉150g、長ねぎ10cm、漬物(家にあるもの)150g、サラダ油大さじ2、ごま油大さじ1、こしょう少々、白ごま大さじ2、とり肉の下味A(醤油小さじ2、酒小さじ1、水小さじ1、ごま油少々、片栗粉少々)

●作り方(4人分) 1. とりもも肉は1cmの角切りにして、とり肉の下味Aをもみ込み20分位おきます。 2. 長ねぎはみじん切りにします。 3. 漬物は粗くぎざみます。 4. 中華鍋にサラダ油、ごま油を熱し、とり肉を炒め、色が変わったら長ねぎ、漬物を炒め合わせ、ごはん、こしょうを加えて強火で手早く炒めます。 5. 漬物の塩けで足りな



ければ、塩少々を加え、器に盛って、白ごまをふります。

生活習慣病予防には
「1に運動、2に食事、最後にクスリ」

☆訂正後の写真



【お詫びと訂正】
1月号の「平成17年まちの出来事」の中の成人式の写真で、一部誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

健康料理コーナー

いまべつ

議会だより

No. 146

発行／青森県東津軽郡
今別町議会
編集／議会広報委員会

あなたと共にあゆむ

12月定例会で きまっちゃったこと

第359回定例会は12月9日に招集され、12月14日までの6日間の会期で開催しました。
町長より就任二期目にあたり今後の取り組みについて、所信表明の挨拶があり、固定資産評価審査委員三名の選任、教育委員一名の任命など慎重審議のうえ同意しました。
(会期は一日繰り上げて12月13日に閉会しました。)

条例関係

○ 今別町奥平部集会所条例の制定について

可決

町民のふれあいの場と地域の連携を目的とした、奥平部地区集会所が新築されたため制定しました。

人事関係

○ 町固定資産評価審査委員会委員の選任について

平成17年12月24日で任期満了となるため三名が選任され同意しました。

相内 長男 氏
(71歳 鍋田)



新築落成した奥平部地区集会所

田中 勝英 氏

(64歳 奥平部)

長谷川 進 氏

(71歳 今別)

○ 町教育委員会委員の任命について

欠員中の教育委員に一名が任命され同意しました。

相内 利男 氏
(66歳 大川平)

議員提出議案

○ 道路財源の確保に関する意見書

地方の道路整備は遅れている状況で、道路特定財源をほかに使うことは、地方の声を無視したものである。都市、地方に住む者が公平であるように社会基盤施設である道路整備をより一層積極的に推し進めるよう強く望む意見書。 採択

請願・陳情

(請願書)

○ 「消費税大増税をきっぱりやめること」の請願書 不採択

予算関係

各会計の歳出補正の主なものは、給与等の減額によるものであります。

会 計 名	補 正 額	補正後の額
一 般 会 計	608万 4 千円	23億 1 千500万 5 千円
国 保 (事 業) 特別会計	6 千126万 5 千円	5 億 4 千954万 1 千円
国 保 (診 療) 特別会計	増減なし	2 億 6 千610万 5 千円
老 人 保 健 特 別 会 計	増減なし	5 億 6 千968万 2 千円
介 護 (保 険) 特別会計	2 千933万円	3 億 2 千 7 万 4 千円
介 護 (サ ー ビ ス) 特別会計	771万 7 千円	3 億 8 千509万 4 千円
水 道 事 業 会 計	10万円	1 億 7 千131万 9 千円

第358回臨時会

第358回臨時会は11月22日開催されました。人事院勧告による職員給与の減額のため「職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」と、今後、町の施設の管理者を指定するため「今別町公の施設に係る指定管理者の指定手続条例の制定」について審議され可決しました。

指定管理者制度のあらまし

○指定管理者制度とは

今まで、公の施設の管理を町が外部に委ねる場合は、町の出資法人や公共的な団体に限定されておりましたが、地方自治法の改正により指定管理者制度が導入され、民間業者も含めた団体にも委ねることができるようになりました。

これは、住民のニーズに、効果的、効率的に対応するため公の施設の管理運営に民間のノウハウを活用しながら、住民サービスの向上と経費の削減を図ることを目的としたものです。

○公の施設とは

公の施設とは、町が住民の福祉を増進するために設

置した施設のことで、体育施設、文化施設、社会福祉施設、観光施設などがあります。役場や学校は該当しません。

○公の施設の管理とは

指定管理者が行う公の施設の管理とは、施設の設定目的に沿って行われる包括的な管理で、清掃、警備、保守などの個々の業務とは異なります。清掃、警備、保守などは、指定管理者制度を導入する施設については、指定管理者が直接行うか、あるいは指定管理者から他の業者に委託されます。町が直接管理する施設については、町が業者に委託します。

いっぱん質問

中島邦彦議員

アスベスト使用施設はあるか

質問

県内の公共施設でアスベストの使用が明るみに出て、自治体ではその対応に悩んでいるところがあります。当町では公共施設のアスベスト使用について調査はどのように行うのか、また、該当施設があった場合の対策について伺います。

総務部参

公共施設のアスベストが使用されているかどうかの調査は設計図から調査をしております。その結果、町営住宅の一部に「プリント石綿板」が、また、開発センター集会所の天井裏の鉄骨部分に「岩綿」が使用されている

12月の定例会では、6人の質問者がありました。その主な内容を要約してお知らせします。

ことが分かりました。これらについては、県と協議して対処したいと考えております。

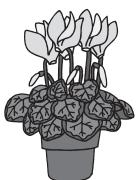
長者 教育関連施設についてアスベスト使用の有無を面談と目視による調査をいたしました。その結果、今別小学校の電気室に吹き付けロックウール（岩綿）を確認しました。ここは児童の出入りがないところです。対策として、専門業者にアスベスト使用の有無、含有率の調査を依頼することになります。

また、学校給食用施設の調査結果、食器消毒保管庫

スクールバス運行区域の拡大を

質問

児童生徒の殺傷事件や教職員の殺傷事件などが発生しているなかで、我が町でもいつどのような事件が起こるかわかりません。そこで、児童生徒の登下校時の安全対策のため、スクールバス運行区域の拡大をする考えがないか伺います。



長者 現在運行している
育代理 スクールバスは、国
教職 務代 のへき地児童生徒援
助等補助金制度を活
用して購入したものです。

その運行基準は児童は4キ
ロ以上、生徒は6キロ以上
の通学困難をきたす通学区
域となっています。また、
学校統合による地域の実情
を考えた通学区域に運行し
ています。基本的には従来
どおりの運行を考えており
ます。

広島県、栃木県で小学校

1年生の女児が下校途中に
殺害されるという痛ましい
事件が発生しており、県内
でも児童・生徒の連れ去り
未遂事件が起きております。
こうした事件を機に、管内
児童・生徒の安全について
さらに万全を期すよう学校
に通告しております。子供
たちの安全は地域ぐるみで
守る環境づくりが重要であ
ると考えております。

福士 和比古 議員

児童・生徒の安全確保の対策は

質問

広島市で小学1年
生の女児が帰宅途中
に殺害されるという
痛ましい事件が発生しまし
た。子どもさんのいる家庭
では、外で遊ばせるのも心
配だと思えます。県教育委
員会からは児童・生徒の登
下校時の安全確保への通達
がなされたようですが、我

が町ではどのような対策が
なされているのか伺います。

低学年の殺傷事件の多く
は人通りの少ない場所で起
きています。我が町で徒歩
通学の1番遠い距離が浜名
地区です。児童・生徒の安
全確保のために、浜名地区
に1日も早い通学バスの配
置をしていただきたく関係

者の所見を求めます。

長者 女児殺害の事件発
生後に開催された定
例校長会で、児童・
生徒の登下校時の安
全確認と、冬休み期間の防
犯対策について協力要請を
しました。

また、児童・生徒の登下
校時の安全指導及び管理に
ついて、関係機関と十分連
絡をとりながら万全を期す
ようお願いをしております。
さらに、学校、警察、教
育委員会等で情報交換を行
い、相互の取り組みを確認
し、事故、事件の未然防止
に努めております。

浜名地区への通学バス運
行の件は、現行の運行形態
を維持していきたいと考え
ています。
今回の事件を機に学校、
保護者、警察、地域が連携
し地域ぐるみで子どもたち
を守っていく環境づくり
に取り組むことが重要である
と思っておりますので、ご
理解をお願いします。

浜名地区 国道の整備は

質問

三厩に向かってJ
Rトンネル付近の国
道が波により大きく
侵食されています。昨年度
にこの付近まで階段式護岸
が完成し、波による侵食が
防がれ景観もよくなった地
域があります。今後、この
階段式護岸が継続して延長
される計画があるのか伺い
ます。

設監 ご指摘の箇所の侵
食状況は、青森県土
整備事務所現地を
確認しておりますの
で、波浪による災害で対応
すると思えます。今後とも
壊れてからの対応でなく、
防災を考慮していただくよ
う県へ強く要望していきたく
いと考えています。

浜名漁港の 整備計画は

質問

浜名漁港は港内が
浅くなっているため、
船の舵が底について
船を壊すなど漁民は困つて
います。1日も早い対応を
していただきたい。
また、昨年工事をした場
所の舗装工事はいつごろ着
工予定か伺います。

産監 浜名漁港内の水深
水統 については状況を調
査のうち、関係機関
農担 にお願ひしていきたく
いと考えています。
港内道路と用地の舗装は
今年度一部着工予定とのこ
とです。全体の舗装工事は
完了は来年度になるという
ことですから、漁民のご理
解とご協力をお願いします。



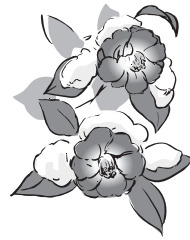
国道危険箇所の調査結果は

質問 前定例会で質問した、婁月の通称七曲り地区カーブ落石危険箇所の調査結果の報告をお願いします。

建設担当 婁月地区国道の危険箇所については、砂ヶ森の赤根沢付近と併せて単独事業

の道路維持改良というところで要望しております。

七曲り地区中央部の突き出ている岩については、写真を持参し状況を県に説明しております。落石の危険がないとは言えないので、対応について今後も要望していきたいと考えています。



嶋中忠也 議員

少子化の現状について

質問 少子化が加速すると経済や教育、労働などあらゆる分野への影響が大きいといわれています。そこで政府ではさまざまな対策を講じてきたが、少子化への歯止めがかかっていないのが現状のようです。

少子化問題は国・県に任

せておくだけでなく、国民が一丸となって取り組む以外に解決する道がないと思います。町ではこの少子化の現状をどのようにとらえているのか、基本的な考えを示していただきたい。

町長 少子化の現状については重要な課題であると深く認識しております。

民事福祉 少子化問題の重要さは十分認識しております。国でも積極的に取り組む姿勢を示しており大いに期待しているところです。

町としては、今後とも県の対策の概要の把握に努め、少子化対策に取り組むたいと思っております。

旧浜名温泉を活用し地域の活性化を

質問 温泉は通年農業、融雪などいろいろなものに活用でき、価値観の高いものと言われています。最近では、どの町村に行っても必ずあるほど温泉が多くなっています。

わが町にも1件あった温泉が、残念なことに閉鎖され営業しておりません。

温泉は極めて公共性が高く経済効果も高いものと思っております。そこで町で買収して、第3セクターが公社を設立し、温泉を活用した地域活性化を図っていただきたいと思いますが、町の考えを伺います。

町長 町では、宿泊施設数の減少により収容人数が大きく減少していることに苦慮しております。

今後、「奥津軽駅（仮称）」と北海道新幹線開業を見据え、観光客等の受け入れ態勢として宿泊者の収容確保に努め、町の活性化を図っていききたいと考えています。

公社設立計画の見通しは

質問 嘱託運転手のために公社を設立し、その会社と役場が委託契約を結び、町の嘱託運転手を会社に雇ってもらおうという計画はその後どうな

たのか伺います。公社設立は断念したのか、今後の見通しを示していただきたい。

総務部 公社設立に向け、平成14年6月定例会で出資金を予算計上しましたが、公社が取り扱う業務内容や経営について十分に調査研究してから設立することとし、予算執行を控え検討したところです。

その結果、他町村の第3セクターの経営状況を見ても成功例がほとんどないことから公社設立は断念し、平成15年3月定例会で予算の減額補正をしておりますのでご理解願います。

町営スキー場の休業について

質問 町ではスキー場が赤字であることから、平成17年、18年は全面休業すると言います。しかし、スキー場は経済的な側面だけで閉鎖、休業することはいかがなものか。営

業すると1千万円ほどの赤字が出るようですが、休業した場合の管理費はどのくらいか。また、休業することによって町のスキーヤーがどのくらい町外に流れるのか伺います。

さらに、18年度以降の町営スキー場の長期計画を示していただきたい。

町長 町営スキー場は厳しい財政状況を踏まえ、やむを得ず休業することになりました。来年度の営業もかなり難しいと思われれます。

しかし、冬季スポーツ振興などを考え、予算をけないでできる運営方法について教育、スポーツ関係者の皆さんと協議を重ねているところでありますので、ご理解をお願いします。

監 スキー場を営業した場合と休業した場合の経費の差は600万円くらいの見込みです。休業することによって利用者が町外にどの

によって利用者が町外にどの

くらい流出するかについては、把握していません。

本郷良克 議員

二股地区町道の拡幅整備を

質問

二股上町の青森よりの町道は、直角のカーブで坂の頂上であるため見通しが悪く、道幅も狭くて危険です。このような状況であることから、拡幅整備計画について伺います。

設置統括 建当

ご指摘の町道は非常に危険であると認識しております。今後、現地の調査をし、拡幅整備について検討していきたいと考えております。

地産地消による 町経済の向上を

質問

地産地消は農家にとっては願ってもないことであり、消費

ます。提供する側の農家、漁家の方々の意向や動向を踏まえ対処していきたいと

佐藤 豪 議員

介護保険改訂に伴う 状況の変化と対応は

質問

介護保険の改悪が行われ10月から食費、居住費の全額自己負担に続き、18年4月からは「新予防給付」の導入などによりサービスにも変化があります。そこで、施設の居住費、食費の負担増で退所者はないものか。また、「新予防給付」が創設され、要介護認定で「要介護1」が「要介護1」と要支援2に判定されるようだが、要支援となるのが圧倒的といわれています。今別の実態はどうか伺います。さらに、施設入所者で要支援2の方は3年経過措置後、施設の利用ができなくなるが、どのような対応になるのか伺

考えておりますので、ご指導をお願いします。

います。

町内外の入所者、居住系利用者数、入所・入居の希望者数、必要利用定員総数や「グループホーム」など新たなサービス拠点等は検討されているのか伺います。

地域包括支援センターはどうするのか、保険料については具体的にどのような検討になっているのか伺います。高齢者が安心して暮らせる条件整備をすることが、給付費を抑え、保険料の値上げを抑制する効果があると思うが所見を求めます。



町長

地域包括支援センターは、国では平成19年度末までに全市町村に設置を義務付けております。

現在、当町では在宅介護支援センターを「ひより」に併設しており、これらとの関連やスタッフの確保などを協議し、19年度開設に向けて努力していきたいと考えています。

部署 介護保険制度改正により、居住費・食費が給付対象外となり全額が利用者の負担になります。

低所得者の負担軽減制度の適用などにより、ほとんどの方の負担金は改正前と比較すると減額となっています。そこで退所された方はいません。新予防給付による介護認定で、要支援になるのが圧倒的かどうかは、認定審査会の審査をまたなければ出てこないものと考えます。また、経過措置の関係では3年後に必ずしも全部の方が退所になると思いません。

ただ、退所となった方々には、家庭等の状況から個々のニーズに応じた在宅サービスを提供したいと考えています。

現在、第3期介護保険事業計画の策定中であり、施設整備等についても検討され、計画に反映されることになっていきますのでご理解願います。

保険料については若干上げざるを得ないものと考えています。

高額医療費受領委任制度の早期実施を

質問

当町では、高額な医療費が必要なときのために、高額医療費貸付制度は社会福祉協議会で事務を行っています。まだ広く知れ渡っていないように思います。

高額療養費自己負担限度額のみを医療機関に支払う高額医療受任委任制度があれば、入院や長期療養のときは安心です。医師会や上

磯管内の医療機関と交渉を進め、早期実現を図っていただきたいと思いますが答弁を求めます。

町長

ご質問の制度実施にあたっては医師会及び医療機関との十分な協議を必要とします。今後、県・国保連及び関係機関の助言・指導を受けながら、前向きに検討していきたいと考えております。

国保税の法定減額改善を早急に

質問

低所得者の負担を軽減するために、国保税7割、5割、2割の減額ができる制度を町では実施しなかった。そのため県の補助金、約1千200万円が町に入っていないのは大変な損失です。

減額制度の実施より「予防医療」、「受診抑制」が先であるとの考えを示していましたが、予防医療、受診抑制策の具体的な内容の説

明を求めます。減額制度実施の遅れは損失の増大を招くだけであり、早急に実施すべきと考えるものです。また、政府で発表した高齢者医療費自己負担倍増等の改革計画には、市町村長会などが一体となった反対運動をしていくべきと考えるが、町長の所見を求めます。

町長

高齢者医療費自己負担増額については、国保全国大会において容認しがたい問題であることを訴え、反対する意向を示しております。

徴収・徴税

平準化による軽減制度を実施しないことと損失したとは思っていません。これまでもお答えしているように、国保事業全般の財政の安定と国保加入者の負担について、平準化に向け努力したいと思っておりますので、ご理解願います。

除監

医療費適正対策として生活習慣病の予防対策が不可欠であり、高齢者の医療費抑制が大事だと考えています。

現在は、集団検診の結果、予防に対するPRや事後指導を実施しております。

その他の方法も検討し、実現可能なものを見出し予防医療、受診抑制に努めていきたいと思っております。

アスベスト対策について

質問

アスベストはいまや大きな社会問題になっていきます。公共施設では町営住宅の一部、開発センターの舞台、今別小学校の電気室などにアスベスト使用が報告されていますが、中小企業や個人施設の調査除去及び支援対策はどうなっているのか伺います。

また、不安解消のために町民の相談窓口も必要かと

思いますが、どのような対応を考えているのか伺います。

アスベスト使用施設などの火災では、消防隊へ防塵マスクの常備が必要になると思いますが、どのようになっているのか答弁を求めます。

総務部

民間の建物の建築確認は県で行うことになっていきます。県からは今のところ民間の資料は出ていません。

健康被害があった場合、町では役場の住民福祉部で対応したいと考えています。また、広域消防へ防塵マスクと着衣は3人分の配置がされているようです。いずれ全隊員への支給となるようです。

災害復旧の見通しと 新年度の重点施策

質問

県の直轄事業も含めた災害復旧対策事業の進捗状況と見通

しについて伺います。

新年度の重点施策として、直営施設の民間移譲が大きな問題となっています。その中でも職員の勧奨退職優遇制度の確立ですが、退職組合の理解を得られないのはどんな点か伺います。また、理解を得られないときは退職組合脱退との発言もありましたが、脱退して単独で運営できるのか伺います。さらに、勧奨退職は全職員が対象になるのか。それに応ずる人がいないときはどうするのか伺います。

特老の売却について、5法人から希望があるが地元の方の運営を望んでいるとの発言があります。今別町社会福祉協議会は視野に入っているのか伺います。

広域消防事務組合体制の見直しについて伺います。今別分署の救急部門を充実させ消火部門を縮小し、現場職員として総合的な勤務体制にして対応などと、大革命も表明されていますが、状況はどのようになっているのか答弁を求めます。

施設

町が事業主体の農業災害は4箇所ありますが、査定が済んでいますが、公共災害については3箇所あり、これから査定となります。

予算がつき次第、早期に発注したいと思っております。

町長

退職組合にはさまざまな規約があり、組合に加入している以上、独自では優遇措置はできない状況にあります。組合を脱退しても、基金が2億数千円あることから

運営できると考えます。勧奨退職については全職員を対象に調整していく考えです。特老を社会福祉協議会へ運営してもらうことは考えていません。

広域消防事務組合体制の見直しは、救急部門を充実し消火部門を縮小、余剰の職員を役場に移した総合的な勤務体制を考えておりません。構成町村の理解を得ながらやらなければならぬ問題であり、目下、研究中でありますのでご理解願います。

明田平苗議員 体験農園の パイプハウス計画について

質問

体験農園に建設予定のパイプハウスについて、どのような形で経営参加者を募集するのか伺います。また、何年契約か、作目は何にするの

か、販売目的でなければならぬのか、契約書を策定するのか答弁を求めます。

さらに、経費をどのように試算しているのか伺います。

町長

今別の将来に向けた産業について試行錯誤の末、通年農業を目指し冬でも収入になる農業をと、パイプハウスの建設を計画したものです。休耕田をどのように活用するかについても、皆さんのご意見を聞きながら第一次産業の育成のため努力していきたいと考えています。

産地

地元の担い手の方々に利用していただきたく、説明会も開催してききました。「荒馬の里体験農園運営協議会」などの組織を作り管理したいと考えています。また、一般の方々にも「広報いまべつ」を通して募集したいと考えています。

作目は野菜づくりの団地化を目指すため制約もあると思いますが、今後、協議していききたいと思っております。

使用料は、1棟当たり1万3千200円を見込んでいます。

議会の動き

(平成17年10月1日～12月31日)

- 10月5日 東津軽郡議会議長会議
- 19日 蟹田地区交通・地域安全総決起大会
- 20日 町村議会広報研修会
- 25日 町議会広報委員会
- 27日～28日 東津軽郡町村議会議長・副議長研修会
- 11月7日 知事を囲む行政懇談会
- 10日 議長、事務局長研修
- 14日 地方分権改革総決起大会
- 17日 県町村議長会理事会
- 18日 行政改革推進セミナー
- 22日 議会運営委員会第358回臨時会
- 24日 町村議会議長全国大会
- 25日 豪雪地帯町村議会議長全国大会
- 26日～28日 東津軽郡町村議会議長会 県外視察研修
- 12月2日 議会運営委員会
- 9日～13日 第359回定例会
- 16日 高規格道路及び道路整備促進青森県総決起大会 議会広報委員会

知事を囲む行政懇談会

「知事を囲む行政懇談会」は、十一月七日青森グランドホテルにおいて、各郡代表が地域懸案事項の実現方を要望しました。

県側から三村知事はじめ各部長、課長が出席しました。東津軽郡代表として島中議長が近年医師の不足から地域医療確保が極めて困難な状況にあることから、公立の診療所支援体制を要望しました。

(県側回答)

県全体としては医師確保は難しい。市町村においても対策を講じて頂きたい。

医師確保困難地域における医療体制の確保は必要であると認識している。



東郡町村議会議長会会長として知事へ要望する島中議長

町村議会 広報研修報告

町議会広報委員は、十月二十日県教育会館において、「議会広報のチェックポイント」いま必要な「意識改革」として行われた研修会に参加し、いろいろと難しい編集や技術的なことを研修してきました。このことを読者「住民」の皆さんに知らせる義務、知る権利として説明ができるように、議会広報委員として努めてまいりたいと思います。

(議会広報委員 長島三千次)



編集後記

昨年は、児童生徒殺傷事件や教職員殺傷事件、列車脱線事故、アスベスト問題など暗いニュースが多い一年でした。新聞やテレビでは子供に対する虐待や少年たちの殺人事件が報道されない日がないくらいでした。人の命を奪うことに何の抵抗も感じないのだろうか。そんな環境にした大人にも責任はあるものと思います。

議会は町政を知る良い場です。傍聴してみませんか。今、町ではどのようなことを計画し、議論されているのか。あなたの身近なことが議題となっています。

(議会広報委員 中島 邦彦)

議会広報委員会

- 委員長 小鹿 勉
- 副委員長 中島 邦彦
- 委員 長島三千次
- 委員 阿部 修吾